

ころばん体操出前講座活動報告(平成30年12月17日)

平成30年12月11日(火)麓公民館 高齢者クラブ 10:00~11:30(参加者23名)

【講話】

「知って安心 訪問看護サービス」

訪問看護ステーションさくら 所長 畑中 勇二

参加者の声

- 「訪問看護を受ける時は、登録をするんですか…？」
- 「病気になったら入院が安心じゃないですか。」
- 夫を看取ってから自分が亡くなりたいです。
- お金の事が一番大事 心配…
- 自分の家で死にたい…”朝起きたら亡くなっていた”っていうのがいいですけどね。
- ピンピンコロリがいいですけど…難しいかも…「家にずっとおりたいなあ」
- 色々あるけどまだ先の事は分からないよね。まだ今元気でいるから…
- 今、いちき串木野市に訪問看護ステーションが2か所と『聞いていますが、その数で地域の人々の要望に対応できるのですか？キャパが心配です。
- 自分は事業対象者なので通所サービスは週1回しか利用できないが、健康を維持して行く為にもう少し何か参加できる場所があったらと思っている。

高齢者クラブとは思えない、活発なご意見や、質問をたくさん頂きました。

「これからの参考になるいい話を聴いてよかった。」というご意見もありました。

代表の方がご自身のお母さまが倒れて意識が戻らないまま亡くなられたお話をされ、「元気な内に自分の想いを書いて置くことは大事だと思います」と話してくださいました。



平成30年12月11日(火) 日ノ出団地公民館 14:00~15:30(参加者8名)

【講話】

1.「いつまでも自宅で暮らすために」 地域包括支援センター保健師 久保小百合

2.「がんばりすぎない介護を応援します」

在宅医療・介護連携推進事業コーディネーター 南新敦子

参加者の声

- ”ピンピンコロリ”…「うんうんそれが一番いいよねえ」
- 認知症は心配です。物忘れとか特に気になります。
- ”健康寿命”はいい、知っています。もう私達過ぎてる人もいます。
- こんな介護の話のパンフレットを見ると自分のこれからはごく
- 不安になりました。…なんか気分が暗くなりそうです。
- とても参考になる話でしたが、私たちは介護してもらう方になって行くので、これから介護をして行く側になる若い人たちにこんな話をしてほしいと思いました。

こじんまりとして、和気あいの雰囲気でも講話を聴いて頂きました。

介護について大変なイメージを持っているのご意見がありました。地域にある介護、医療のサービス資源の利用や相談に対応していく説明をお伝えしました。不安がすべて解消できたことではないですが、色々なご相談に対応して行きたいと思います。

